

非小細胞肺癌に対する【80kg以上】CBDCA+Pemetrexed+Amivantamab療法1コース目（day1,2）

(カルボプラチン+ペメトレキセド+ライブリバント) <<ORIP>>RPHW_1

2025年01月20日 承認		Dr.sign	Ns.sign	Ph.sign		
病棟・科名	登録番号	氏名	年齢	身長	体重	体表面積
	<<SYPID>>	<<ORIBP_KANJI>>	様 <<SYAGE>>	cm	kg	m ²
疾患名	施行予定日		実施サイクル	【調製指示】		
	月 日 ~ ()		コース目	□ TEL連絡後調製		
備考[標準投与量逸脱など]				放射線併用		
				□ 有 □ 無		

【必須項目】

☐ 投与7日以上前からパンビタン末1g 1×服用開始

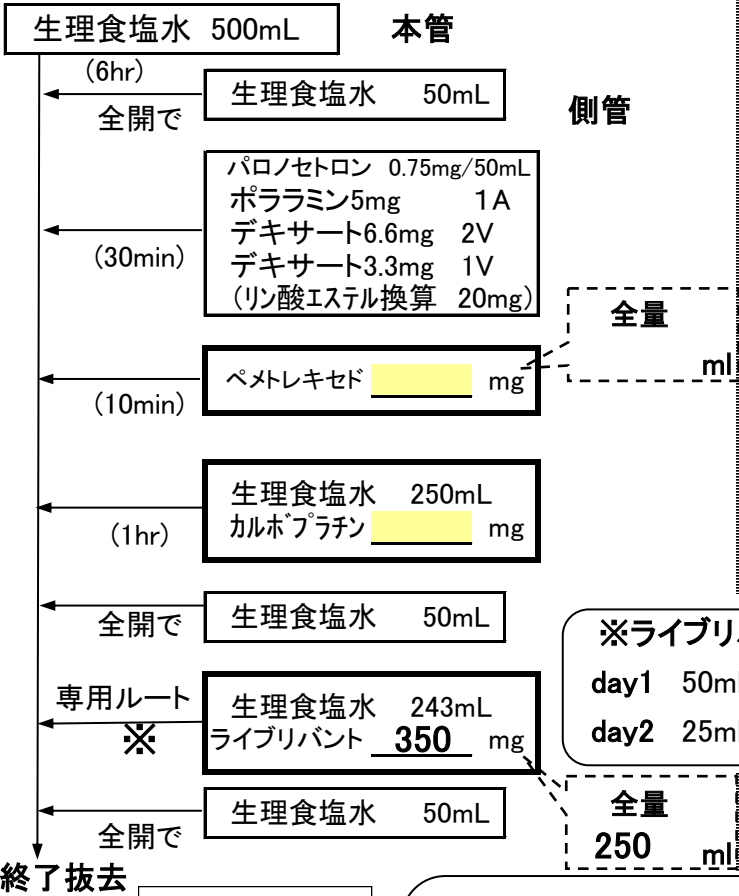
☐ 初回投与の少なくとも7日前にシアノコバラミン注 1A筋注

Day1(/ /)

アプレピタントカプセル125mg 1回 1Cを
治療開始前に服用

《カルボプラチン投与前に服用》

カロナール錠(500) 2T ライブリバントの
過敏反応防止のため



使用Cre値	GFR算出式
	☐ CockCroft-Gault
	☐ Jelliffe
	☐ 24hrCcr
mg/dl	
☐ 補正あり	
☐ 補正なし	

【ペメトレキセドの投与終了(中止)時の注意事項】

(1) パンビタン末は、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する。

(2) シアノコバラミン注は、投与期間中および投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する。

Day2(/ /) ~ Day3(/ /)

アプレピタントカプセル80mg 1回 1Cを
午前中(朝食後)に服用

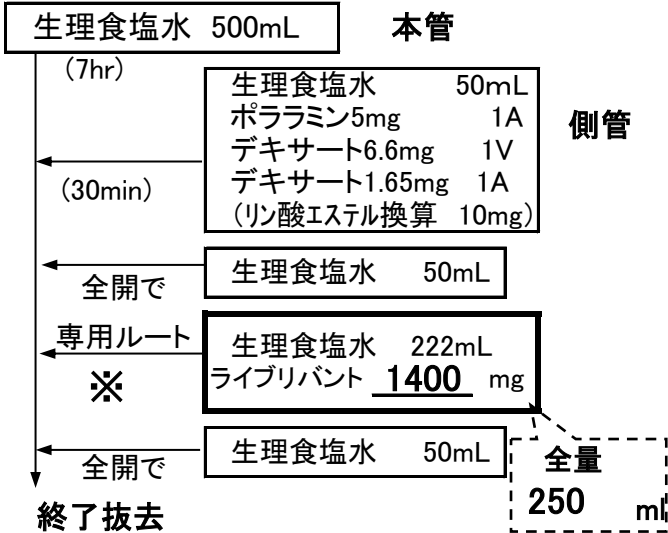
day3のみ

デカドロン錠 1回 8錠を
1日2回(朝昼食後) 服用

Day2(/ /)

《ライブリバント投与60分前に服用》

カロナール錠(500) 2T ライブリバントの
過敏反応防止のため



※ライブリバント投与速度

day1 50mL/hr → 75mL/hr 投与開始から2時間後、速度UP可
day2 25mL/hr → 50mL/hr (infusion reactionない場合)

CBDCA+PEM+Amivantamab療法

標準投与量

CBDCA	AUC=5	day1
PEM	500 mg/m ²	day1
Amivan	350 mg/body	day1
	1400 mg/body	day2
	1750 mg/body	day8,15
		3週毎